

報告書(案)について、事前に委員からいただいたご意見

報告書(案)の頁	大項目	項目	修正前	修正案	理由
P 6	3. へき地等における医療提供体制を構築する各主体の役割として求められること	(5)大学の役割として求められること	この際、都道府県やへき地医療支援機構と連携して、へき地・離島医療の現場を経験できるようなカリキュラムを作成し、学生に対して地域医療やへき地医療に対する親和性を高める教育を行うことが望ましい		「親和性」という言葉は化学や技術で使われる言葉だと思います。それを承知でお使いなら構いませんが、人間のことなので別の表現の方が良いのでは。
P11	4. へき地保健医療対策に係る具体的支援方策の検討	(2)へき地医療への動機付けとキャリアパスの構築について 2) 安心して勤務・生活できるキャリアパスの構築について ウ その他	定年退職した医師にへき地勤務してもらってはどうか	年齢や診療科の経験を問わず、へき地医療に意欲を持つ医師を幅広く受け入れる意識や体制作りが必要ではないか	消極的な対策の印象で、かつ定年のある勤務医に対して配慮を欠く表現であると考えます
					「一線を退いたのだからへき地でも行って見たら」と提言しているような気もしますし、色々と誤解を招くのではないのでしょうか
P12	4. へき地保健医療対策に係る具体的支援方策の検討	(3)へき地等における医療提供体制に対する支援について 1)へき地医療拠点病院の見直しと新たな支援について	へき地医療を担う医師たちの基地となる機能を有する施設を「へき地医療教育研修支援病院(仮称)」として	へき地医療を担う医師たちの拠点となる機能を有する施設を「へき地医療研修支援拠点病院(仮称)」として	
P14	4. へき地保健医療対策に係る具体的支援方策の検討	(3)へき地等における医療提供体制に対する支援について 4)ドクターヘリの活用について	なお、地理的要件によっては、海上交通の選択肢しかない場所もあり、距離が遠い離島地域については、ジェット機の活用も検討されるべきとの意見があった	なお、地理的要件によっては、海上交通の選択肢しかない場所もあり、距離が遠い離島地域については、ジェット機や飛行艇の活用も検討されるべきとの意見があった	